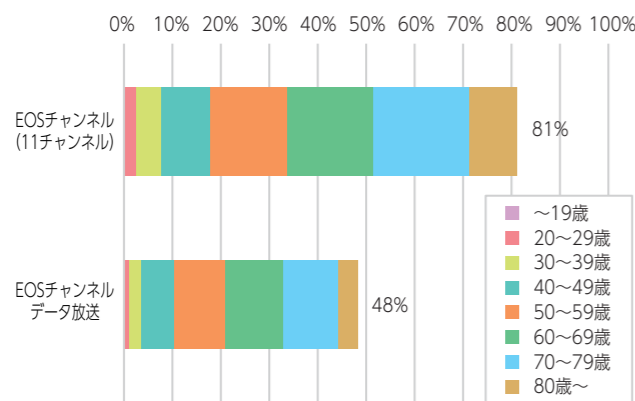


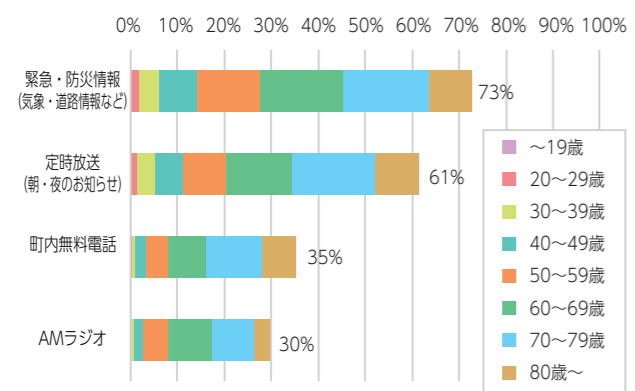
EOS チャンネルはどのくらい見られているの？



EOSチャンネル (11チャンネル) を見ている世帯は81%で、このグラフからはわかりませんが、30歳以上の世帯では年齢によるばらつきはあまりありませんでした。一方、それより下の年齢になると、見ている世帯の割合が少なくなっています。

EOSチャンネルのデータ放送になると、利用率は半分まで落ち込みます。その中では30歳~69歳の利用が多く、70歳以上になると利用が少なくなっています。

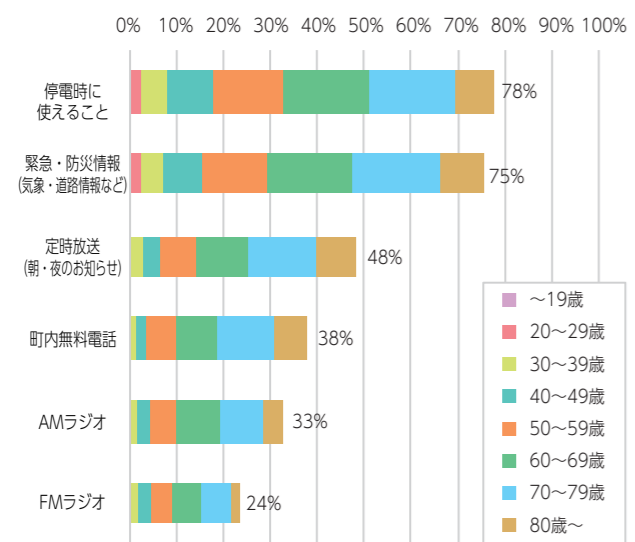
現在、音声告知放送端末でよく使われている機能は？



音声告知放送端末では、緊急・防災情報と定時放送の利用が多いことがわかります。

一方、町内無料電話とAMラジオの利用率は約3割です。詳しく見てみると、町内無料電話は70歳以上の世帯の約半数が利用している一方、59歳以下では急激に利用率が下がっています。インターネット利用率と反比例していることから、スマートフォンを使っていない世帯で町内無料電話が使用されていると考えられます。

今後の音声告知放送端末に求める機能は？



今後、音声告知放送端末を新しくする際に必要な機能としては、停電時に使えることと、緊急・防災情報の提供を、回答世帯の8割近くが希望していました。この2つについては年齢に関係なく希望がありました。

定時放送、町内無料電話、AMラジオ、FMラジオは、年齢が若くなるほど希望が少なくなっていました。現在使っている機能の利用率と同じで、若い人はスマートフォンなどを使用するため、これらの機能はあまり必要としないのではないかと考えられます。

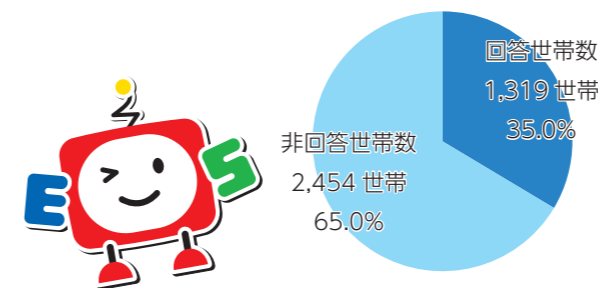
「情報通信に関するアンケート」の結果を報告します

5月に町民の皆さんにお願いしたアンケートには、たくさんの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。現在、この結果を参考にしながら、今後の情報通信設備の更新計画を策定中です。

ここでは、アンケート結果の一部をご紹介します。紙面の関係で全ての項目をご紹介しますことができませんが、枝幸町ホームページ (<https://www.esashi.jp/>) では全ての項目の結果を掲載しています。「くらしの情報」の中の「町営ケーブルテレビ」欄に、「令和3年度情報通信に関するアンケートの結果」として掲載していますので、ご覧ください。

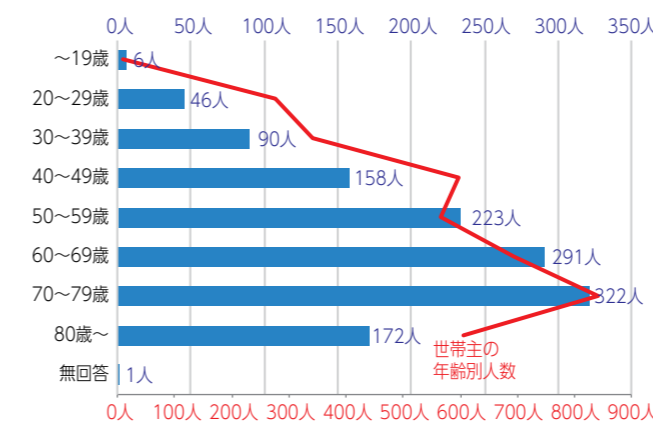


回答数・回答率は？



回答をいただいた世帯数は1,319世帯でした。4月末の世帯数が3,773世帯でしたので、約3割の世帯から回答をいただきました。

回答者の年齢構成は？

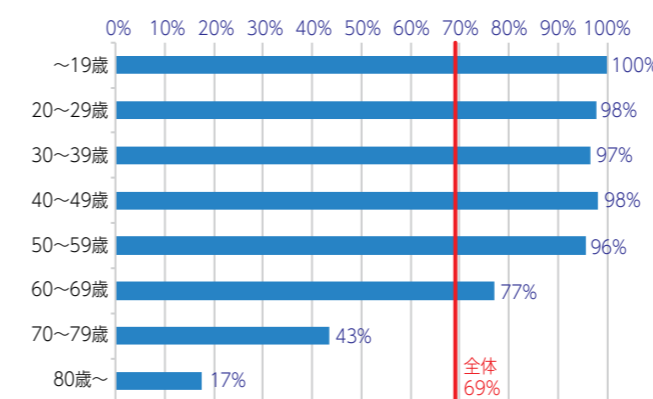


枝幸町の年齢構成を反映して、世帯を代表して回答をいただいた方の年齢構成は、70歳代をピークとした山になっています。

回答された方が世帯主とは限りませんが、世帯主の年齢構成を折れ線グラフで重ねてみますと、ほぼ同じ傾向になっていることがわかります。

※世帯主のデータは7月1日現在のものです。

年齢で分けた世帯のインターネット利用率は？



回答者が59歳以下の世帯では、ほぼ全ての世帯でインターネットを利用していることがわかります。しかしながら、60歳以上の世帯になると急激に利用率が低下し、70歳代の世帯で約4割、80歳以上の世帯で約2割の利用率となっています。

なお、全年齢では、利用率は69%でした。